

2015年度 助成対象研究・研究者

応募総数186件の中から選考の結果、21件、総額2,090万円の助成を決定しました。

(研究者50音順、敬称略、単位:万円)

研究者	所属	役職	研究テーマ	助成金額
網井秀樹	群馬大学 大学院理工学府	教授	フッ素の特性を活かした世界最長アセン化合物創製への挑戦	95
伊藤傑	横浜国立大学 大学院工学研究院	助教	キラル型カーボンナノチューブの光学分割を指向したC2対称分子ピンセットの創製	100
河野貴子	立命館大学 薬学部	准教授	細胞遊走を制御するアクチン細胞骨格の時間的・空間的な統合制御原理の解明	80
財津慎一	九州大学 大学院工学研究院	准教授	連続発振テラヘルツ分子光変調器の開発	100
清水章弘	京都大学 大学院工学研究科	助教	電解液を用いない有機レドックス・フロー電池の開発	125
杉崎満	大阪市立大学 大学院理学研究科	准教授	時間分解超解像度顕微鏡技術の開発	90
鈴木亮	名古屋市立大学 大学院薬学研究科	講師	アレルギー親和性を基盤とした高齢者アレルギー発症機構と戦略的脱感作療法の確立	90
関修平	京都大学 大学院工学研究科	教授	超高速界面伝導診断法の開発	85
高岩昌弘	徳島大学 大学院ソシオテクノサイエンス研究部	教授	エネルギー自律型空気式歩行支援シューズの開発	85
立花雅史	大阪大学 大学院薬学研究科	助教	HMGB1が制御する骨髄由来免疫抑制細胞における免疫抑制メカニズムの解明	110
陳中春	鳥取大学 大学院工学研究科	教授	高い即効性と持続性を有する抗鳥インフルエンザウイルス素材の開発	115
都甲薫	筑波大学 数理物質系	助教	プラスチック上におけるゲルマニウム・ナノワイヤの均一合成と太陽電池応用	140
西川原理仁	豊橋技術科学大学	助教	マイクロ多孔体内蒸発熱流動の解明とループヒートパイプ最適形状設計への応用	125
早田匡芳	筑波大学 医学医療系	准教授	力学的刺激を模倣する新型骨粗鬆症治療薬の開発を目指した力覚情報処理機構の解明	115
原田健一	東北大学 サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	助教	微弱磁場検出のための光格子を用いた超高感度磁力計の開発	105
藤井知	沖縄工業高等専門学校 情報通信システム工学科	教授	マイクロ波を用いた金属酸化物の高温還元反応に関する研究	95
前川洋一	岐阜大学 大学院医学系研究科	教授	寄生戦略分子の構造解析に基づく新規免疫制御機構の解明	105
松岡雷士	広島大学 大学院工学研究院	助教	衝突緩和を積極的に利用する放射性セシウムの高効率レーザー同位体分離の研究	75
水関健司	大阪市立大学 大学院医学研究科	教授	海馬体神経回路の動作原理	90
安田琢磨	九州大学 稲盛フロンティア研究センター	教授	分子内電荷移動を利用した超高効率発光ポリマーの創製と塗布型有機LEDへの応用	80
依田成玄	Dana-Farber Cancer Institute	リサーチサイエンティスト	希少がんからのがん遺伝子探索	85

※研究者の所属・役職は、2015年10月の財団理事会開催時のものです。